



Miyazaki Gyu

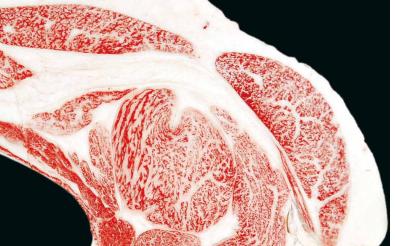
2015

No.68

http://miyazaki.lin.gr.jp/









contents

【緊急特集】繁殖雌牛の増頭に取り組みましょう!!	From 宮崎県	1
分娩間隔短縮の近道~土づくり、エサづくり~	From 宮崎県	··· 3
第118回JA宮崎経済連和牛枝肉共進会を開催	From 経済連	··· 5
JA宮崎経済連食育講座「農の台所~宮崎牛のじかん~」を開催	From 経済連	··· 6
第66回宮崎県学校農業クラブ連盟大会『家畜審査競技会』が開催される	From 全和県支部	··· 7
種雄牛間接検定枝肉成績判明	From 事業団	9
新規種雄牛紹介	From 事業団	9
肉用子牛生産者補給金制度について	From 畜産協会	11
死亡牛の届出及びBSE検査対象月齢の変更	From 畜産協会	··· 13
口蹄疫を県内で二度と発生させないために	From 宮崎県	··· 14

【緊急特集】繁殖雌牛の増頭に取り組みましょう!!

宮崎県農政水産部畜産振興課

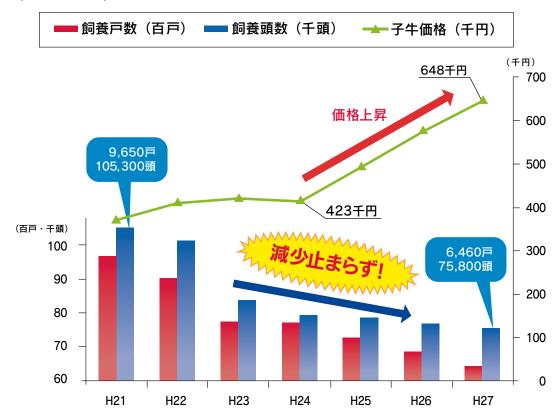
■「宮崎牛」の危機!繁殖雌牛頭数が減少しています

近年、全国的に繁殖雌牛の頭数が急激に減っていることはご存じでしょうか。

本県についても例外ではなく、6年前の平成21年には10万頭以上いた繁殖雌牛が、口蹄疫発生や高齢化等の影響で減少を続けており、平成27年2月現在で75.800頭となり、6年連続の減少となりました。

繁殖雌牛頭数の減少に伴い、子牛の上場頭数が減少し、子牛価格の上昇が続いており、肥育経営への影響が懸念されています。繁殖雌牛だけでなく、肥育牛もこの6年間で7,000頭の減少となっており、このまま頭数の減少が続くと、これまで作り上げてきた「宮崎牛」の生産基盤を支えることが非常に難しくなります。さらに、畜産業が基幹産業である本県にとっては、食肉処理業や飼料製造業など関連産業への影響も大きく、肉用牛の生産基盤が弱まることが、地域経済を支える大きな柱を失うことにつながりかねません。今、本県の畜産はかつてない危機に立たされています。

【繁殖雌牛(子取り用雌牛)飼養戸数・頭数及び子牛価格の推移】



	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
飼養戸数(戸)	9,650	9,040	7,760	7,730	7,280	6,890	6,460
飼養頭数(頭)	105,300	101,600	83,900	79,400	78,800	77,000	75,800

※飼養戸数・頭数:畜産統計(農林水産省、各年2月1日現在)より

※子牛価格: 肉用子牛取引情報(農畜産業振興機構、税込、各年度平均、H27は4~6月) より

■繁殖雌牛の増頭に向けて!

この危機を乗り越えるため、昨年度、各地域において、畜産関係団体が連携して「人・牛プラン」を 策定しました。このプランでは、地域の実情に応じた繁殖基盤強化の振興方針を定め、「地域の担い手 をどのように育成していくのか」、「どのように増頭を図っていくのか」などを具体的に示しています。

プランを実現するためには、繁殖農家の皆さんに1頭でも多く、1年でも長く経営を続けていただくことはもちろん、キャトルセンター等を活用した分業化・省力化の取組、肥育農家自らが肥育素牛を確保する一貫経営の取組など、様々な取組を計画しています。

これらの取組を実施するため、牛舎などの施設整備や繁殖雌牛の増頭支援など、様々な補助事業があり、その一部を下表にご紹介しています。これらの事業を積極的に活用し、繁殖雌牛の増頭に役立てていただきたいと思います。

皆で力を合わせ、宮崎の宝「宮崎牛」の生産基盤を守っていきましょう!!

「人・牛プラン」の概要

- ○地域農業における肉用牛の振興方針 ○地域の担い手としての肉用牛農家の育成方針
- ○地域経済の基盤としての位置付け ○主体となる経営体の明確化

【目標】繁殖雌牛頭数 8万頭(平成32年度)

◎繁殖雌牛の増頭に活用できる主な補助事業

	事業名	事業内容	県・国	補助率
施	肉用牛経営安定対策補完事業 (簡易牛舎等の整備)	繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛 舎等の整備	国庫	2分の1以内
設整備支	畜産競争力強化対策整備事業	クラスター計画に基づく、家畜 飼養管理施設や家畜排せつ物処 理施設等の整備	国庫	2分の1以内
援	肉用牛生産基盤強化対策事業	飼養管理環境改善のための牛舎 の補改修及び簡易牛舎の整備の ための資材供給	県単 (新規)	3分の1以内
links	肉用牛経営安定対策補完事業 (中核的担い手育成増頭推進)	繁殖雌牛の増頭実績に応じた奨 励金の交付	国庫	100 千円以内/頭 80 千円以内/頭
繁殖雌牛萬	畜産競争力強化対策整備事業	施設整備を行う新規就農者に対 し農協等が購入した家畜を貸し 付けるための助成	国庫	1/2 以内 補助額上限 妊娠牛 275千円 雌 牛 175千円
導入支援	地域づくり放牧推進事業	放牧牛 (繁殖雌牛) 購入費用及 び導入経費の助成	国庫	1/2 以内 補助額上限 280 千円
1/X	肉用牛肥育一貫体制実証事業	肥育農家が一貫体制に取り組む場 合の雌牛導入経費に対する助成	県単 (新規)	80 千円/頭

※それぞれの事業ごとに要件がありますので、詳しくは最寄りのJA、市町村、西臼杵支庁及び 各農林振興局にお問い合わせください。

分娩間隔短縮の近道~土づくり、エサづくり~

宮崎県営農支援課 専門技術指導担当 須崎 哲也

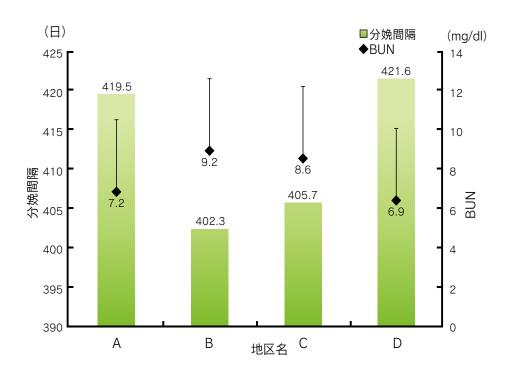
1. はじめに

肉用繁殖雌牛を飼養する場合、自給飼料の確保は非常に重要です。本県では温暖な気候を背景に、 夏場にはトウモロコシ、ソルゴー、飼料用イネ、冬場にはイタリアンライグラス、エンバクなどの粗飼料 が多く栽培されています。このような粗飼料は牛の飼料のベースとなり、その品質は繁殖成績に直結し ています。最近のイタリアンライグラスや飼料用イネの飼料分析を行うと、タンパク質の含量が標準より も低いものが多く見受けられるようになりました。飼料中のタンパク質の減少は発情発現の鈍化などの 繁殖障害を引き起こします。なぜこのようなタンパク質含量の低い粗飼料が多くなっているのでしょうか。

2. 繁殖性と飼料中のタンパク質との関係

最近、農家さんと話す中で、最近の牛は発情が弱い・発情がこないという声をよく聞きます。牛はルーメン(第1胃)内で飼料中のタンパク質をアンモニアに分解し、これを微生物体タンパクに作り変え、最終的に乳や筋肉のタンパク質を作ります。タンパク質が低い粗飼料を牛に給与すると、ルーメン微生物が作り出す微生物タンパクが減り、栄養不足による発情の鈍化や発情がこないという症状につながります。繁殖雌牛の摂取タンパク質が足りているかどうかの指標は血液のBUN(血中尿素対窒素)という成分で見ることができます。BUNの適正範囲は8~10mg/dlと言われています。図1には、地域ごとの分娩間隔とBUNの関係を示しています。BUNが高いB、C地区は分娩間隔が短く、逆にBUNが低いA、D地区は分娩間隔が長いと言うことが分かります。濃厚飼料はどの地域でも給与量はほぼ同じであったので、地域によりこれだけBUNに違いがあるということは給与している粗飼料の品質(タンパク質含量)に違いがあると考えられます。

図1 地域ごとの分娩間隔とBUN(摂取タンパク質量の指標)の関係 (NOSAIみやざき調べ)



3. タンパク質含量の低い粗飼料が増えた原因

たい肥しか入れずに飼料作物を作り続けると、土壌は酸性化します。土壌が酸性化すると根の発育が悪くなり、植物が栄養分を十分ためることができなくなります。その結果としてタンパク質の低い粗飼料しか収穫できなくなります。図2には、ある地域の土壌分析の結果を示しました。横軸はpHを示しており、飼料作物を栽培するのに適性pHは弱酸性です($5.5 \sim 6.5$)。縦軸のECとは土中の電気伝導度のことで、簡単に言えば土壌の肥沃度を示します(標準値 $0.27 \sim 0.30$)。図からも分かるとおり、pHが低い土壌が散見され、またECはかなり低い土壌ということが分かります。図3には同じ地域のイタリアンライグラスの飼料成分を示しています。横軸にCP(9)2パク質)、縦軸TDN(1)2、ボーンを示しています。CP4は標準値($13.7\% \sim 18.4\%$)を下回るものが非常に多くなっていることが分かります。このような粗飼料を給与すると、牛は慢性的なタンパク質不足に陥り、ひいては分娩間隔延長の原因になるのです。

図2 土壌分析結果 (平成24年~26年度実施:31件)

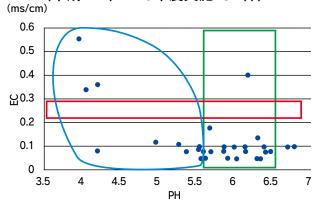
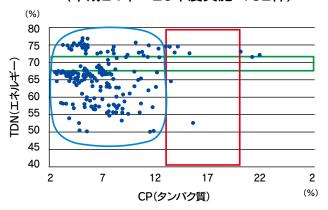


図3 イタリアンライグラス分析結果 (平成24年~26年度実施:162件)



4. タンパク質含量の高い粗飼料を収穫するには

まず、土壌のpHを矯正(イタリアンライグラスの適正土壌 $pH5.5 \sim 6.0$)することが必要です。土壌の種類や前作の種類にもよりますが、大まかな目安として、表1のとおり10 a 当たり150 k g の苦土石灰を施肥しましょう。またヨウリンも不足しがちですので、10 a 当たり60 k g 程度の施肥が必要となります。

表1 イタリアンライグラスの施肥基準(宮崎県飼料作物奨励品種解説書)

+並 任 目		施肥量 (kg / 10a)					
播種量	基肥・追肥	堆肥	土壌改	良資材		肥料 (成分)	
(kg / 10a)	本ル・坦ル	准肥	苦土石灰	ヨウリン	窒素	リン酸	加理
0.0	基肥	3,000	150	60	9.0	9.0	7.2
	追肥①:刈取後	_	_	_	3.6	_	3.2
2~3	追肥②:刈取後	_	_	_	3.6	_	3.2
	追肥③:刈取後	_	_	_	3.6	_	3.2

※追肥は化成肥料

5. 分娩間隔の短縮のため実施すること

分娩間隔の短縮の鍵は、給与の大部分を占める自給粗飼料の品質にあると言っても過言ではありません。次の①~③の項目を実施しましょう。①自給飼料を作付けするほ場の土壌分析を行い、土壌分析に基づく施肥管理を行う。②収穫した粗飼料については飼料分析を行う。③その結果を基に飼料設計を行う。品質の良い自給粗飼料を給与すれば、自然と母牛の状態は良くなり、繁殖成績は改善されます。

なお、土壌分析や飼料分析、飼料設計については最寄りの農業改良普及センターにお問い合わせ下さい。

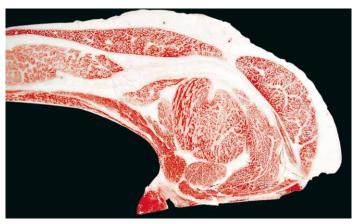
第118回JA宮崎経済連和牛枝肉共進会を開催

平成27年6月23日(火)、JA宮崎経済連和牛枝肉共進会が(株)ミヤチク高崎工場で開催されました。この大会は、宮崎県内における肉用牛の資質向上と経営安定を図るため、系統農家及び組織が一丸となって肥育技術を研鑽し、宮崎牛の更なる発展と系統共販体制による販路拡大を図ることを目的として毎年開催しているもの。

大会では県内より選抜された108頭の出品の中から、JAはまゆうの鎌田秀利さんがグランドチャンピオンに輝きました。鎌田さんの牛は光沢、締まりよく、BMSNoが最高位の12で、全体のバランスも良く無駄のない体型が高く評価されました。その後のセリでは、1キロ当たり8,560円(4,757千円)と高値で取引されました。



グランドチャンピオンの鎌田さんとご家族



グランドチャンピオンに輝いた枝肉

上位入賞者成績

					Ш	統	生体				枯肉		歩留	等級			
入賞	農協名	出荷者名	性別	父	母の父	母の祖父	生体 体重 (kg)	DG	枝肉重量(kg)	枝肉 歩(%)	ロー ス芯 (cm)	バラ 厚 (cm)	皮下 脂肪 (cm)	推定	BMS No.	単価	
グランドチャンピオン	はまゆう	鎌田秀利	去	耕富士	秀菊安	福桜	850	0.80	579.1	68.1	97	9.9	2.6	79.1	12	8,560	
優秀賞	宮崎中央	小倉光彦	雌	勝平正	安平	隆桜	748	0.71	488.0	65.2	83	8.2	1.7	78.1	12	5,020	
優秀賞	児湯	山本嘉寿視	去	忠富士	福之国	福桜	814	0.76	526.3	64.7	76	9.0	3.0	76.0	12	4,550	
優秀賞	都城	(有)薬師畜産	去	勝平正	福之国	安平	838	0.87	547.1	65.3	89	9.1	2.0	78.5	12	4,320	
優良賞	都城	新村良浩	去	安平桜	福桜	糸秀	732	0.68	474.4	64.8	80	7.8	2.5	76.8	12	4,000	
優良賞	こばやし	森田静夫	去	平忠勝	福之国	安平	824	0.86	529.2	64.2	85	9.5	2.2	78.2	12	3,810	
優良賞	都城	清水裕一郎	去	秀菊安	勝平正	日向国	800	0.75	524.3	65.5	75	8.9	1.9	76.8	12	3,510	
	118回平均								505.1	64.5	68.7	8.5	2.4	75.6	9.3	2,970	

JA宮崎経済連食育講座

「農の台所~宮崎牛のじかん~」を開催

JA宮崎経済連は消費者を対象に毎月1回、食育講座「農の台所」を実施しています。毎月、県産農畜産物や開発商品などから1テーマを設け実施。6月は「宮崎牛のじかん」と題し宮崎牛焼肉レストランAPASにて実施しました。講座には定員30名に対し過去最多の86名の応募がありました。

参加者は今年4月から導入された「宮崎生まれ、宮崎育ち」の宮崎牛新定義や生産や流通などを学びました。続いて、アメリカ産牛肉との食べ比べを行い、参加者からは「見た目が違う」「宮崎牛の脂の甘さを感じる」「美味しい」との声が聞かれました。その後、家庭でも宮崎牛を楽しんでもらおうと、APASの朝稲一生副店長から「家庭で上手に焼くコツ」を、野菜ソムリエコミュニティ宮崎の那須香さんから「フライパンでできるローストビーフの作り方」を学びました。最後には宮崎牛のランチが提供され、参加者は笑顔で宮崎牛を堪能しました。



見た目や脂ののりなどを評価

・・・・・ 宮崎牛モモのローストビーフ・・・・・・



■材料(4人分)

・宮崎牛モモ肉ブロック400	Ĵg
・塩こしょう	宜
・にんにく2ヵ	いけ
・カラーピーマン (3色)…各1/2	2個
・新玉ねぎ1/2	2個
· 日向夏 ··································	l個
・トマト2	2個

日向夏ドレッシング

*材料を全て合わせる。

- ・日向夏のしぼり汁 ………1個分 ・調味料 …………各大さじ1 -醤油
- -白だし
- -はちみつ
- -オリーブオイル

●宮崎牛モモ肉は、焼く直前に塩こしょうを振る。

- ②鍋にオリーブオイル (分量外) を引き、つぶしたにんにく を入れたら弱火で熱し、肉の面積が広い面から中火で5 分、反対面を5分、側面を各1分づつ焼き、全体に焼き 色がついたら、二重にしたアルミホイルで肉を巻き、蓋 をして約15分保温する。
- ❸カラーピーマンと玉ねぎは縦薄切り、日向夏はいちょう切りにしたものを、ボウルに入れて混ぜ合わせる。トマトは3㎝偏の棒状に切る。
- ②2.のローストビーフは、完全に冷めてから薄切りにする。 3.のトマトにローストビーフを巻き、皿に3.の野菜と一緒 に盛りつけ、日向夏ドレッシングをかけたら出来上がり。

野菜ソムリエ ローストビーフのタレ その2

プロック肉を焼いた鍋に赤ワイン:300cc、はちみつ:大さじ2、醤油:大さじ2を煮詰め、仕上げにバター:10gを加えてソースの出来上がりです。コクがあり、クリスマスにも最適です♪

第66回宮崎県学校農業クラブ連盟大会 『家畜審査競技会』が開催される

宮崎県の将来を担う選手達、審査技術を競う



第66回宮崎県学校農業クラブ連盟大会『家畜審査競技会』が宮崎農業高等学校を事務局として開催されました。今回の家畜審査競技会は、小林秀峰高等学校を担当校として西諸県郡市畜産販売農業協同組合連合会、こばやし農業協同組合並びに高原町役場の協力を得て、去る平成27年6月10日に高原町出口畜産振興センターで開催されました。



雨足の強い日が続く中、大会前日まで会場設営が行われ、小林秀峰高等学校の生徒の皆さんが審査場や繋ぎ場の水洗いや消毒等を懸命に行い、会場の隅々まで整備されていました。大会当日は、会場の至る所に消毒槽が設置され、関係者や選手達の動線について、しっかりとした防疫対策が施されていました。また、開会式会場には花が飾られるなど明るい雰囲気の設営がされていました。

競技会当日は、快く供試牛の出品に協力して頂いたJAこばやし繁殖センターの職員の方々や来賓の方々に、小林秀峰高等学校の生徒達が手作りした乳酸菌飲料が振る舞われました。そして、供試牛の負担を軽くするために会場内に大鋸屑を敷く対応がとられており、細やかな心遣いを感じ取ることができました。

審査競技会には、小林秀峰高等学校、都城農業高等学校、高鍋農業高等学校、高千穂高等学校の4校から、黒毛和種の部に51名、ホルスタイン種の部に32名、合計83名が参加され、これまで培ってきた審査技術を競いました。

黒毛和種の審査競技では、4頭の供試牛について 黒毛和種種牛審査標準に照らした牛の相対的な序列 と、前躯、後躯及び資質の3項目の序列が出題され ました。選手の皆さんは、不安な様子を見せながら も、これまで培ってきた審査技術を活かし、4頭の 牛を1頭1頭丹念に様々な角度から何度も見比べ、 牛に触って毛や皮膚の感触を確かめながら審査に取 り組んでいました。





競技の結果、黒毛和種の部は、高鍋農業高等 学校3年の前田 拓君が、ホルスタイン種の部は、 高鍋農業高等学校2年の吉永 弥央君が第1位に 輝きました。

閉会式において、小林秀峰高等学校3年生の 久保田 崇志君から、本日の家畜審査競技会が盛 会に開催できたことへの感謝の気持ちと、出品 者の方々や関係者に対しお礼の言葉が述べられ ました。小林秀峰高等学校の奥平 博徳教頭から は、「審査競技会に参加された選手の諸君が一人 でも多く就農し、今後の宮崎県の畜産を支えて 頂きたい。」と激励の挨拶がありました。

今回の家畜審査競技会を振り返り、会場の設営から競技会の進行等、競技会を成功させるために それぞれに任された役割を全力で果たそうとする生徒、少しでも供試牛を良く見せようと必死にな る生徒や審査に挑む選手の姿が印象的でした。そして、供試牛を出品頂いた方々、ご指導頂いた地 域の技術員の皆さんや学校の先生等の多くの関係者の理解と協力により支えられた本競技会は、人 とのつながりのすばらしさや牛との関わりの楽しさを生徒達の心に刻むすばらしい大会であったと 思います。

おわりに、畜産農家戸数や飼養頭数が年々減少している現状にありますが、一人でも多く生徒達が就農して頂き、宮崎牛発展のために活躍して頂くことを熱望いたします。



左から2位、1位、3位

黒毛和種の部

1位 前田 拓 君 (高鍋農業高等学校)

2位 茶木 成次朗 君 (都城農業高等学校)

3位 稲田 成一郎 君 (高鍋農業高等学校)

種雄牛 間接検定 枝肉成績判明

気高系 忠 医 桜 黒原5550(84.1)



生年月日/平成22年12月25日 産 地/小林市 生産者/古川 宇兵衛 測尺値 (49.9 ヶ月) 体 高/161.2cm 体 長/187.0cm 胸 囲/230cm 体 重/875kg

	平茂勝	第20平茂	気高
由常工	富士 みふく2の4	ふくみ	宝勝
心菌工		安平	安福(宮崎)
		みふく2	第20平茂
	福之国	北国7の8	第7糸桜
たつて	伸之国	ふみさかえ	福茂
なつこ	すみれ	隆桜	隆美
		はるよ	安平

●改良期待点/体積、体伸、後躯、前躯

●交配注意点/前背幅、下賺、肩後、ヤヤ体上線

間接検定成績	D.G	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	筋間脂肪厚	推定歩留	脂肪交雑
(8頭)	1.06kg	399kg	58cm ²	7.3cm	1.7cm	6.3cm	75.3%	3.6







系 福吉美

新規種雄牛紹介



生年月日/平成26年1月15日 測尺値(16.3 τ 月) 産 地/都城市 体 高/133.2cm 生 産 者/吉原 和美 (発育評価+0.3 σ) 体 長/149.4cm 胸 囲/190cm

M 重/ 533kg

	福栄	安福(岐阜)	安谷土井
福安照	佃木	はるみ	菊照土井
伸女照	もりひら	安平	安福(宮崎)
		もりあき	菊照土井
	福桜(宮崎)	隆桜	隆美
りか	1曲1女(古啊)	きよふく	安福(岐阜)
ינו כי	++11	平茂勝	第20平茂
さおり		よねこ	神高福

●改良期待点/発育、体伸、体深、皮 **●**交配注意点/体幅、後躯、体下線、乳頭間隔

試験交配	現場後代検定開始	現場後代検定枝肉調査
平成 27 年 6 月	平成 28 年 12 月	平成 30 年 8 月~ 11 月

世界系 美知忠平



生年月日/平成26年2月6日 産 地/西都市 生産者/中武 康浩

体 高/ 132.4cm (発育評価+0.4 σ) 体 長/ 149.6cm 胸 囲/ 176cm

測尺値(15.6ヶ月)

胸 囲/176cm 体 重/505kg

	क्रम	安福(宮崎)	田安土井
北平安	安平	きよふく	安福(岐阜)
北平女	てるふく3	菊照土井	菊則土井
	くのかくつ	てるふく2	菊安土井
	忠富士	平茂勝	第20平茂
みちこ123	心菌工	みふく2の4	安平
	みちこ12	茂福(宮崎)	安平
	かりこ12	みちこ1	福桜(宮崎)

●改良期待点/発育、体伸、毛、骨味 ●交配注意点/体幅、腿、肩端、肘後

試験交配	現場後代検定開始	現場後代検定枝肉調査
平成27年7月	平成29年1月	平成30年9月~ 12月

気高系常忠幸



生年月日/平成26年2月3日 産 地/都城市

生 産 者/原村 常次 (発育評価+0.6σ)

体 長/ 151.6cm 胸 囲/ 190cm

体 重/564kg

測尺値(15.7ヶ月)

体 高/133.2cm

	平茂勝	第20平茂	気高
忠富士	T1X1199	ふくみ	宝勝
心虽工	みふく2の4	安平	安福(宮崎)
		みふく2	第20平茂
	金幸	金徳	金水9
てるみ	亚羊	かよこ	神高福
	てるよ	安糸福	安福165の9
	ে৯৫	やすふく5	金幸

●改良期待点/発育、体積、体伸、体深 ●交配注意点/体下線、肩後、ヤヤ前背幅

試験交配	現場後代検定開始	現場後代検定枝肉調査
平成27年8月	平成29年2月	平成30年10月~31年1月

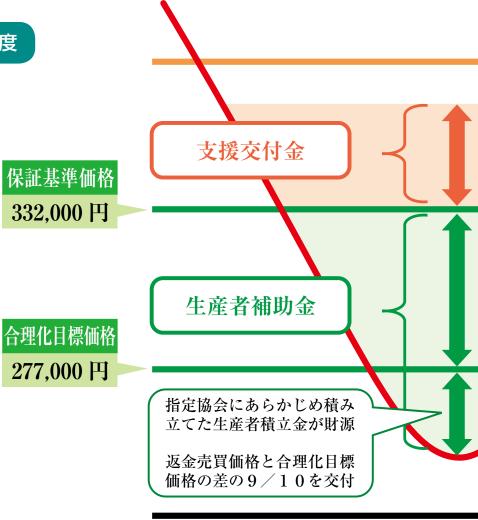
肉用子牛生産者補給金制度の保証基準価格・ 変更されました(平成27年度)

●保証基準価格·合理化目標価格

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	332,000	303,000	217,000	130,000	199,000
合理化目標価格	277,000	255,000	147,000	88,000	144,000

肉用子牛生產者補給金制度

四半期毎に農林水産大臣が 告示する肉用子牛の平均売買 価格(品種別)が保証基準価 格を下回った場合にその期間 内に肉用子牛を販売、又は自 家保留していれば、補給金制 度加入者へ生産者給付金が交 付されます。



(単位:円/頭)

本件に関するお問い合わせ先

公益社団法人 宮崎県畜産協会 価格対策部2課

電話番号:(0985)41-9304

※ 制度加入については農協へお問い合わせください。

(単位:円/頭)

合理化目標価格、生産者積立金・負担金が

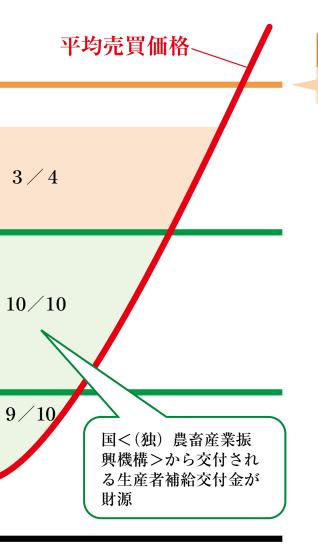
●生産者積立金·負担金

	区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種
<u> </u>	上産者積立金	1,200	4,600	12,400	6,400	2,400
負担 内訳	国(機構)(1/2)県(1/4)	600 300	2,300 1,150	6,200 3,100	3,200 1,600	1,200 600
(割合)	生産者 (1/4)	300	1,150	3,100	1,600	600

発動価格

420.000 円

※ 平成27年7月1日個体登録分から適用



※価格は黒毛和種を対象とした場合

肉用牛繁殖経営支援事業

肉用子牛の全国の平均売買価格と 発動基準の差の3/4が支援交付金 として、補給金と同じ時期(四半期毎) に畜産協会を通じて支払われます。

● 事業の参加申込みが必要です

支援交付金を受けるためには、①補給金制度に加入するほか、合理化促進に向けた努力方針を記載した②参加申込書の提出が必要です。

- ・合理化促進に向けた努力方針とは? コストをより削減し、収益をあげる ために
 - ①肉用子牛の出荷日齢の短縮
 - ②繁殖雌牛初産月齢の早期化
 - ③分娩間隔の短縮
 - ④飼料の低コスト化

などの努力目標を作り、取り組むこと です。

死亡牛の届出及びBSE検査 対象月齢が48か月以上となりました

平成27年2月17日付けの官報で、家畜伝染病予防法施行規則及び牛海綿状脳症対策特別措置法施行の一部を改正する旨の省令が定められました。

このことにより、国は平成27年4月から死亡牛の届出及びBSE検査の対象月齢を48か月齢に引き上げました。

この背景には、平成25年5月の国際獣疫事務局(OIE)総会が我が国のBSE対策を評価し、平成21年1月以降、発生がないことを考慮し、BSEリスクステータス(国際的なBSEの安全性格付け)が最も安全な「無視できるリスクの国」に認定し、これを受け平成25年7月から、死亡牛検査に先行してと畜場でのBSE検査対象牛を48か月齢超としたことにあります。

このため、平成27年度死亡牛緊急処理円滑化推進事業(実施主体:畜産協会)におきましては、48か月齢以上の死亡牛の円滑かつ適正な処理を推進し、BSE検査を実施するため、死亡した牛の所有者に対して、その発生場所から化製場等までの輸送促進費及び適正処理に係る経費助成について、下表のとおり計画しています。

なお、農家の皆様に提出いただく「死亡牛緊急処理円滑化推進事業整理票」に記入漏れ等があると補助金が早期に支払われないことがありますので、適正な事務手続きにご協力をお願いいたします。

1 平成26年度実績(県内)

対象月齢	補助対象頭数	補助額(補助率1/2以内)
24 か月齢以上	1,996 頭	18,403 千円

2 平成27年度計画(県内)

対象月齢	補助対象頭数	補助額(補助率1/2以内)
48か月齢以上	1,435 頭	10,823 千円

口蹄疫を県内で三度と発生させないために

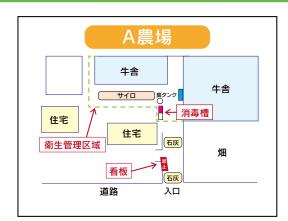
宮崎県農政水産部家畜防疫対策課

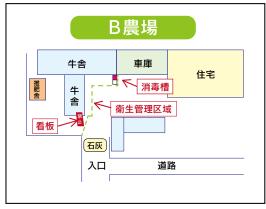
宮崎県での口蹄疫の発生から5年が経過しました。一方、近隣諸国では口蹄疫が継続して発生し、特に韓国では昨年7月の発生以降、未だに清浄化に至っていないという状況が続いています。

現在、家畜保健衛生所では、口蹄疫を二度と発生させないために巡回指導を実施し、生産者の皆様 へ防疫の徹底をお願いしています。

しかしながら、一部の農場では「立入禁止の看板」や「適切な踏込消毒槽」を設置していない状況が見受けられますので、生産者の皆様におかれましては、『<mark>飼養衛生管理基準遵守の徹底</mark>』による『農場防疫の強化(自分の農場は自分で守る)』を改めて確認いただきますようお願いします。

県内の農家で実施されている優良事例の紹介







踏込消毒時のポイント

- 作業靴が汚れたまま消毒槽に入ると効果が大きく低下する ことから、よく洗って汚れを除去してから消毒してください。
- 消毒液は定期的に交換するとともに、汚れた場合もすぐ交 換してください。
- 酸性消毒薬(ビルコンSなど)とアルカリ性消毒薬(石灰、ソーダ灰など)は、混ぜてしまうと効果が低下する(なくなる)ため、注意してください。
- 消毒薬は定められた用法と用量で希釈し、特に、冬季(低温下)では効果が低下することから、濃いめの濃度で使用してください。



今後の予定表

